



事業報告書

理事長報告

2019年度 公益社団法人呉青年会議所

第67代理事長 井本 成一

<スローガン> To be with!!

- <基本方針>
1. 能動的な呉市民と共につくる活力溢れる力強い呉のまち
 2. 調和のとれた魅力ある呉J.Cの発信

2019年度公益社団法人呉青年会議所は、上記のスローガンのもと2つの基本方針を掲げ、青年会議所運動を展開してまいりました。

遡ること1年半前、私が2019年度の方針を考えている最中、この呉のまちは未曾有の豪雨災害という危機により混乱を極めました。しかし、そこには多くの呉市民のボランティアの方々が居ました。目の前にあるピンチ、それを何とか乗り越えようとする多くの市民。立ち上がろうと思えば、こんなにも多くの方が立ち上がることができる。1人の力は小さいかもしれませんが、多くの方々が同じ方向を向いて、受け身ではなく、他人事ではなく、自ら自分事として、まちと向き合い、まちのことを考え、自らの手でなんとかしなければならぬ、という意識のもと、それぞれが不便な生活を強いられている中、自らの時間と労力を惜しまず、自発的に活動をされていた姿は、まさに能動的でありました。

このとき強く感じたことは、普段の生活の中でも、1人でも多く自発的に能動的に、呉のまちを考えることができる人が増えれば、呉のまちは、さらに明るい豊かな社会を、そして、災害前よりも活力が溢れるまちになるという確信でした。

また、災害が起きた昨年度は、まさに復旧期、そして、今年度は、復旧期から復興期へ移り変わる時期でもありました。すなわちそれは、多くの呉市民の皆様が、「復興」という1つのキーワードを意識しているということであると考えました。同時に、これだけ多くの方々が、1つの目標に向かっていく状況は、これまでに無かったのではないかと考えました。

「受動的から能動的へ」

我がまちとを感じるには、各々が自主的に自分たちの住むまちのことを、当事者として考えアクションを起こしてゆかなければなりません。そこで「復興」というキーワードのもと、「呉WAVE創造事業 Reboen fes I」を展開し、多くの呉市民の皆様に参加して頂きました。その中で、我々の目的に共感をして頂いた呉市民の皆様に参加して頂き、さらに「呉WAVE創造事業 Reboen fes II」を展開しました。参加者という受動的な視点から、運営側という能動的な視点に変えることで、当事者としてアクションすることの有意義さを実感して頂きました。この体験が、各々の自信につながり、さらに呉のまちに波及して復興の礎になると考えます。

次に、これまで我々は数多くの事業を呉のまちに対して実施してきました。これまで、呉市民の皆様から「またやってほしい」というご意見も頂戴することがありましたが、同じ事業が展開されることは殆どありませんでした。そのような中、「リメイク」というキーワードのもと、まずは「呉JCRリメイク事業Ⅰ」を展開し、我々に対し呉市民の皆様が継続的に何を必要としているのか調査を行いました。その結果、明確となった呉市民皆様からの声に対し「呉JCRリメイク事業ⅡこどもHERO商店街2019」を展開しました。広商店街の皆様、そして地元の子供たち、また親御様と協働して創り上げた本事業は、共に感動できるものとなり、まちへの興味を高めることが出来たと考えます。今後、この感動を共有した当事者が、さらに自ら立ち上がり本事業がリメイクされたとき、それはまちの宝となり文化になると考えます。

また、呉市民の皆様誰もが参加できる事業として「活力あるまち創造事業Ⅰ～「Vitalityダンス」の創造・広報～」を展開し、呉のまちの若者を巻き込み、さらにクラウドファンディングを活用し「活力あるまち創造事業Ⅱ～日本遺産「呉鎮守府開庁130周年」記念呉サマーフェスタ2019～」を実施しました。一斉にダンスを踊るというエモーショナルな表現の中で、またそれを下支えするクラウドファンディングへの協力の中で、多くの呉市民の皆様、我々の価値観を共有して頂き、そして共感して頂き、共に喜びを分かち合えたものと考えます。その喜びは、参加者の誇りへ変わり、さらにその誇りは能動的へ変化する自覚となり、呉のまちの活力の源になったと考えます。

「パートナー」

人が生きていく中で、良きパートナーに恵まれれば、それは全ての場面で精神的に物理的に豊かとなります。常に新陳代謝をしてゆく我々であるからこそ、多くのパートナーに恵まれるために、常に、我々と志を共有する、新たな仲間を探し求めてゆく必要があります。

まずは我々の志を広く知って頂くために、「若者が時代を切り開く」をテーマとしたオープン例会を実施しました。多くの若者に参加して頂き、青年会議所運動を経験した各企業で活躍するリーダーを講師にお招きし、経験談を踏まえながら講演をして頂きました。そして、仮入会員となったメンバーに対して、各種セミナーを開催し共通の修練を共に積んでゆくことで、志を共有しました。彼らは着実に、我々の良きパートナーとなることができたと考えます。

「協和音とプロモーション」

調和のとれた魅力ある呉JCRを発信してゆくためには、まずはメンバー同士が常に周囲を意識し、息を合わせ、歩みを合わせ、視線を合わせ、全員で同じ方向を向いてゆかなければなりません。月に1度行われる例会では様々な形で展開する運動に向けて、メンバー全員の意識を統一し、調和のとれた心地よい協和音を創り上げ、各事業をより良いものにしてまいりました。

さらに、毎年形が変化してゆく我々の事業を、効果的にプロモーションするために、新しい体裁の発信方法を起用し、我々が作り出した協和音を呉市民の皆様に向けてまいりました。

た。最初は見慣れない、また聞き慣れないこともあったかと思いますが、様々な場面で、様々な形で、無意識に何度も見聞きして頂くことで、それは記憶となり、その記憶は我々の活動に対する関心に繋がったと考えます。

「T o b e w i t h ! ! 」

直訳すると、一緒に、共にという意味です。2019年度、メンバー全員が共に力を合わせ、呉市民皆様と共に、そして呉のまちと共に、さらには関係諸団体の皆様と共に、呉のまちの復興元年を共に歩んでまいりました。多くの事業展開の中で、共に手にした感動や誇りは、令和という時代に繋がる大いなる力、そして希望となったことを確信しています。そしてそれらは、活力溢れる力強い呉のまちの基盤となったものと考えます。

結びに、2019年度公益社団法人呉青年会議所に関わって頂きました多くの皆様に心からの感謝を申し上げ、理事長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

副理事長報告

副理事長 白井祐哉

昨年の豪雨災害に際し、大いなる「市民のちから」を実感した我々は、今年度、市民の皆さまと共に活動することで、この呉のまちにある様々な課題についてこの「市民のちから」が発揮されることを目的に、活動を行った。

市民の皆さまと共に活動を行うためには、皆さまから求められるものではないといけない。そこで、過去に行った我々の事業の中から最も人気の高かった事業を今年度版にリメイクし、その趣旨に賛同いただいた市民の方と共に、事業を作り上げた。

この事業は、ご協力いただいた店舗さんや、参加した子供たちだけでなく、その子供たちの親御さん、地元商店街の方などを巻き込み、地域の方が地域に興味をもち、地域のみならず地域を盛り上げるようになることが理想であった。

単年度のイベントとしては盛況に終わることができ、関係者からも好評を頂くことができたが、この事業は単発で成果が出る種類のものではない。担当した委員長は自身がその地域の人間でもあるため、形を変えつつも、理想の実現に向けて継続した活動を行っていきたい。

また、今年度は「復興」も呉市民のキーワードであったろう。この復興をテーマにしたイベントを我々が主催し、また、そのイベントに共感し、参加して頂いた方と共に、さらにまちづくりイベントを作り上げるという事業を行った。

復興イベントでは、災害から1年が経ち、復興に向け力強く歩みだしている呉のまちを再度実感することができ、そこから続く2回目のイベントで、今までいわゆるまちづくりイベントに参加したことがなかった方たちにご参加いただくことで、そのやりがいや楽しさを実感いただくことができた。この経験を共有できた方々は、今後、呉のまちに対して今まで以上に関心をもち、自らの手で自分が住むまちを盛り上げてくれるに違いない。

先にも触れたが、今年度行ったこれらの事業は、種を蒔いたに過ぎない。やがてこの種が、呉市を救う「市民のちから」として大いに花開くことを願い、また我々自身も改めてこの呉のまちを想い、これからも活動を続けていきたいと思う。

最後に、今年度も大変多くの市民の皆さまにご協力をいただきました。ここに感謝の気持ちを表し、結びとさせていただきます。

ありがとうございました。

副理事長報告

副理事長 松村 和樹

2019年度 公益社団法人呉青年会議所 副理事長の役目を終え、その報告をここに記します。

本年度理事長より私に課せられた使命は呉のまちに活力を与える為、クラウドファンディングを用い価値観を共にする呉市民と復興の象徴となる事業を作り上げる事。そして、会員拡大を行い呉青年会議所に加入した新たなメンバーを会員として教育する事の二つでした。それらを「Vitality Town委員会」「シーズアカデミー委員会」に実行してもらいそれを監理してまいりました。

Vitality Town委員会ではまず、クラウドファンディングにより呉青年会議所の事業に共感頂いた市民から資金を集めました。そして呉の象徴となるダンス「バイタリティダンス」を作成しました。それを～日本遺産「呉鎮守府」開庁130周年記念呉サマーフェスタ2019～にて500名の市民ダンサーと共に踊る姿を全国に発信しました。サマーフェスタの運営も併せて復興の象徴となる事業を作り上げることが出来たと考えます。

シーズアカデミー委員会では、呉青年会議所の会員勧誘活動から始まり、入会した仮入会員に呉青年会議所活動の基本を教育すると共に人と人との繋がり大切さを学んでいただく事により、今年度入会した5名の会員を獲得することが出来ました。会員拡大はどの団体でも課題となっている問題です。この呉のまちの人口減少に歯止めがかからない現状だからこそ青年という大きな力を集結して我々は明るい豊かな社会を目指していく必要があります。今年度も、来年度もその先もこの呉を明るい豊かなまちにするために。会員拡大は最大の青年会議所活動だと改めて考えさせられました。

本年度、呉青年会議所の副理事長という役職を全うさせて頂き、青年会議所の三信条である「修練」「奉仕」「友情」を全力で体現させて頂きました。本当に心からやって良かったと思える一年となりました。我々の呉青年会議所活動にご協力頂きましたすべての人に感謝申し上げます副理事長報告とかえさせていただきます。

副理事長報告

副理事長 平原雅啓

映画「スターウォーズ」の劇中に出てくる有名なセリフである

「Do, or do not. There is no “try” .」

やるか やらないか だ。「試す」なんてない。

と、宣言し駆け抜けた1年でした。

担当ラインの広報と総務の両委員長は大変個性豊かであり、それぞれの個性を活かし、個性的な事業展開を行うことができた。

素晴らしいアイデアや工夫を生み出し、今までの型にはまることなく、勇気をもって行動した。

しかし、ただ漠然と個性的な事業を行うのではなく、そのアイデアや工夫の中にはしっかりとJCとしてのスパイスを盛り込み、いちいちこだわり、汗を描き、泥に塗れ、周りを巻き込んでスローガンである To Be With!! を常に心掛けた。

広報と総務というラインはまちに対して直接的な事業をするわけではなく決して派手ではないかもしれないが、地道な広報活動や例会運営をメンバーの先頭に立って盛り上げることにより他のメンバーにも影響を与え、意識を統一し、士気を高め、それがまちへの事業展開に大きな力となることを改めて感じた。

我々、呉青年会議所は今後も常にまちの現状の課題や問題を考え、青年会議所の伝統を自分達なりに受け止めつつも、そこから出てくる最も尖った若い個性的な事業展開で、まちに強烈な印象を与えてゆかなければならない。

そこには中途半端はいらない、英知と勇気と情熱をもって若者らしく一直線につき進んでゆく。

今後の呉青年会議所もフォースと共にあらんことを。

専務理事報告

専務理事 磯道 忠男

今年度は令和元年、平成30年7月豪雨災害の復興元年の年でした。当会議所は「T o B e W i t h !!」のスローガンのもと活動をして参りました。1年間、専務理事を勤めさせて頂いた今、1年前に書かせて頂いたご挨拶から振り返って、いくつか例を出し、皆様と次年度以降のメンバーにご報告をさせていただきます。

最初に2月に行われた会員拡大につなげるオープン例会です。たくさんの候補者の方に参加を頂きました。ご協力を頂いた人、参加の皆様には心より感謝を申し上げます。しかし事業実施までには実行側との認識の違いもあり少しの困難もありましたが、10名を超える仮入会員を迎える結果に繋がりました。今後はあらかじめのガバナンスの必要があります。

次に、当会議所初となるクラウドファンディング事業に取り組みました。結果としては、復興を掲げ元気な呉市を発信する事業ために200万円を集める目標に対し、225万円を集める事が出来ました。しかし内訳をみるとJC関係者の参加が多く、他の市民に広がりを見せなかった事は今後の反省点となりました。外に向けての広報を意識する必要があります。

例の最後は、広商店街にて行われた「こどもHERO商店街2019」です。私の経験上、広商店街で事業を実施したのはこれが初めてだと思います。また、実行側が継続事業を掲げた初の事業でもあったとも思います。事業自体は、スケジュール的に厳しい日程での開催となりましたが、参加者、広商店街の方には実りのある事業となりました。今後はたくさんの協力者を得、広がりの後押しをし、無理のないスケジュールをあらかじめ想定する必要があります。

この様に挙げればきりがありません。

最後になりますが、1年間、貴重な経験をさせて頂きました。それも専務理事という役を与えて頂き、支えて頂いた全ての人のお陰様です。誠に有り難うございました。今後はこの感謝の意を心に刻み、私の出来る事は積極的に行動して参ります。

事務局長報告

事務局長 新谷 敬仁

2019年の呉市は、豪雨災害からの復興がキーワードとなりスタートしました。当青年会議所も理事長所信に復興というワードが掲げられ、呉J Cと呉市民と一緒に事業を行うことを目標としておりました。

本年度、当会議所の事務局長として公益性のある事業を行うための予算編成を行い、会費収入が大半を占める組織で、各委員会への予算配分を考え、公益事業により多くの予算を考えることを心掛けて参りました。委員会を離れ全体を見る立場となり、諸々の事業には議案書・予算書としての関りしかなかったのが、一步下がった視点で俯瞰することができ、組織運営の面では良い経験をさせていただきました。

本年度は、各事業予算書が審議可決後に修正事業予算書が組まれることが何度かあり、予算書作成段階での各事業を担当する委員長の計画性と見込みが甘い点を、指摘しきれていなかったことが修正事業予算書の提出という結果になったのだと思っております。

公益社団法人の公益担当の理事として、公益社団法人とは何かを、事業を行う各委員長に指導する立場となっておりますが、就任当初は自分自身が手探りで、前任者、経験者に聞くことで勉強させてもらいました。よく話し合い、事業構築をしていくことで、公益性の保たれた事業を行うことができ、呉市民と一緒に事業を行うことができたと思っております。

最後になりましたが、私が事務局長の役職を一年間終えることができたのも、事務局員、支えてくれたセクレタリー、指導してくれた専務理事、「TO BE WITH」のスローガンを掲げられ一緒に考えてくれた理事長、呉市民と青年会議所が一つになる事業を考えてくれた各委員長に感謝いたします。

常任理事報告

常任理事 海生 圭亮

2019年度、私は井本理事長の掲げられたスローガン『To Be With!!』のもと、白井副理事長ラインの常任理事として1年間青年会議所活動をさせていただきました。

まちづくりラインの常任理事として、「呉 WAVE創造委員会」と「First Step委員会」の2委員会を担当させていただきました。

「呉WAVE創造委員会」では、昨年の西日本豪雨災害後、復旧から復興へと移り変わる復興元年として、呉市民の復興に対する機運を高めるために西日本豪雨災害復興祈念酒まつりとして、被害の大きかった天応の呉ポートピアパークにて呉市近郊の酒蔵や飲食店、ワークショップの方々と共に「Reborn Fes」を行いました。台風のため事業開催日が延期となりましたが、多くの市民の方々に参加いただき復興の機運を高めることができました。

また、翌月には、呉市民を巻き込み、能動的市民となるきっかけを作るために「Reborn Fes 2」としてワークショップの事業を行いました。これまでにイベントなどに出店経験のあるワークショップだけでなく、事業Ⅰに参加頂いた市民の方、ワークショップを出店したことのない方も巻き込み能動的市民となるきっかけとすることができました。

「呉 WAVE創造委員会」の今年の活動が、今後共感の波を広げ、たくさんの能動的な市民が増えると確信しております。

「First Step委員会」は、青年会議所の事業を地域や時代のニーズに沿ってリメイクし、自分たちの住む地域に関心を持っていただくきっかけとするため、みなと祭りで過去のまちづくり事業をパネルにて展示紹介致しました。その際のアンケートをもとに、事業Ⅱでは広商店街を舞台に、「子どもHERO商店街」を行いました。

「子どもHERO商店街」では、呉青年会議所が過去に行った事業をリメイクし、子供たちが自ら考えたメニューを広商店街近郊のお店の方々と共に作り、販売しました。

子供たちが同士の繋がりや構築だけでなく子供たちと地元の大人との繋がり、子供たちを通して保護者の方々も地元への興味関心を持つきっかけとなりました。

青年会議所活動最後の年。現役の皆様には何か一つでも残せたらと考える中、このような役を受けさせていただいたこと、私自身も大変勉強になり、また中身の濃い時間を過ごさせていただきました。このような機会を与えていただいた井本理事長・白井副理事長、1年間、最後までやり遂げていただいた内富委員長・住岡委員長、委員会スタッフメンバー、JCの活動に関わっていただいた皆さんに感謝申し上げます。

常任理事報告

常任理事 鈴木 謙治

2019年度、私は井本理事長の「To Be With!!」というスローガンのもと、常任理事として青年会議所活動をさせていただきました。

常任理事としては「Vitality Town委員会」と「シーズアカデミー委員会」の2委員会を担当させていただき、卒業年次に、今までJCで経験してきたことを、後進に伝えたいとの思いで活動してまいりました。

「Vitality Town委員会」では、昨年の豪雨災害で中止になってしまった「呉サマーフェスタ」に参加し、呉の復旧・復興をアピールし、呉市民の元気な姿をみてもらうため500人規模の若者が躍る「Vitalityダンスの作成」、そして、その費用を呉市内外の市民の方から募るクラウドファンディングへの挑戦を行いました。

いずれも、念入りに準備を行うことで、目的どおりの結果を出すことができました。好天すぎて体調不良も心配されるほどの快晴の中で500人の若者が同時に踊る姿を見て、呉市民が災害からの復旧・復興に向けてスタートを切っていることを感じていただけたのではないかと思います。

また、クラウドファンディングという手法を用いることで、公益社団法人がまちに対して事業を行う際の新たな市民の巻き込み方を提案できたのではないかと思います。

「シーズアカデミー委員会」は、年間を通して5名の新入会員を迎えるとともに、新入会員への教育を担当いたしました。マンパワーというものは単純に人数だけではなく、ひとりひとりが持っているパワー × 人数 です。今年はシーズアカデミー委員会の努力により、少数精鋭のパワーを持った新入会員を迎えることが出来ました。なにより、新入会員を迎えるということは、JC活動に賛同して活動する人間が増えるということであり、JCが行っている事業の結果そのものです。

私は、今年で卒業年次を迎えました。今年の活動が次年度以降に続いていくことを祈念して卒業しようと思います。1年間、JC活動に関わっていただいたすべての皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

常任理事報告

常任理事 藤本 健太

2019年度、井本理事長が掲げられたスローガン『To Be With!!』のもと、平原副理事長ラインの常任理事を務めさせていただきました。

今年度、当ラインでは我々青年会議所の屋台骨である、広報委員会、総務委員会を担当させていただきました。

まず、水野委員長率いるPP×PR委員会では例年になく広報活動を目指しました。例年になく広報として、水野委員長が考えたことは、とにかくスピードを重視することでした。事業日にはインスタグラムを使用し、タイムリーに更新することを心掛け、ホームページ、Facebook、TwitterといったSNSの更新も迅速な対応であったと感じます。

我々が行っている事業が独りよがりなものとならないよう、呉市民の皆様にも、広く周知することができたのではないかと思います。

そして、高橋委員長率いるSlash my way委員会においては、主に例会を担当しました。委員会名の通り、無骨な男である高橋委員長が自らを奮い立たせ、切り開く姿を見せて、苦手なことにも率先してチャレンジしていたと思います。

例会担当は、内向きのイメージがありますが、会員の規律を統一し、帰属意識を高めることが出来るのは、総務委員会だけです。

また、新年互例会、高知合同例会、創立記念日例会、卒業式・卒業送別会といった、いつも暖かい眼差しで現役の活動を見守ってくださる特別会員の皆様にお越しいただく例会においては、現役会員と特別会員の皆様との交流の懸け橋となるべく活動してくれました。

私はこの両委員長の常任理事をさせて頂き、本当に幸せな1年を過ごすことが出来ました。

この歴史ある呉青年会議所の常任理事を全うできたのは、平原副理事長のお力添えがないと不可能でした。若年入会である私を責任ある常任理事に選んでくださりありがとうございました。昨年のこの時期も感じましたが、40歳になってこれほど人に感謝する団体は素晴らしい団体だと感じます。そして、次年度以降、委員長であった2名が、また、一緒に活動してきたスタッフの皆が羽ばたく姿を、今後の楽しみとして卒業いたします。

1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。感謝!!!

委員長報告

呉WAVE創造委員会
委員長 内富 竜也

〔スローガン〕 ともにはじめる共感の波

呉に住む人々が、少しでも自分たちのまちに対して積極的になる。昨年の西日本豪雨災害からの「復興」を呉市民共通の目標として、ともに作るまちづくりの体験から、まちづくりの意義を体感していただく事業を目指して1年間活動を行って参りました。

10月には、昨年の災害で被害の大きかった天応の地、呉ポートピアパークにおいて、復興祈念となる「呉Reborn Fes」を開催しました。呉市及びその近郊の酒蔵を中心に展開した日本酒ブースやワークショップブース、飲食やステージなどを用意し、来場して頂いた方々に、皆が楽しみながらもまちづくりによって活気を取り戻していく様子を感じて頂ける事業を目指しました。来場頂いた方々をはじめ、多くの協力団体の方々からは、趣旨に共感して頂き、このような事業を再び求める声を頂戴することが出来ました。これからの復興を呉市民一人一人が行っていくため、今回のようなまちづくりという復興への気運を高めることが出来ました。

また、11月には「呉Reborn Fes」の参加者から、ワークショップ出店の募集を行った「呉Reborn Fes 2」を呉市中央公園にて開催致しました。10名の新規ワークショップの方々には、事前に出店のためのカンファレンスに参加して頂き、実際に当日、自分たちのお店を開いて頂きました。事前の準備から参加していただくことで、事業を通してまちづくりに対する意義を実感して頂きました。事業当日は、その他のまちイベントとの相乗効果もあり、多くの来場者があり大変大きな成果を得ることが出来ました。

1年通して行った活動は、私たちがこのまちと向き合い、小さなことからでも積極的に挑戦し、その意義を実感していく青年会議所の原点とも言える活動だったと感じました。そのまちづくりを考えるきっかけを市民の方々へ少しでも与えることが出来ていたら幸いです。1年間本当にありがとうございました。

事業報告

1. 事業名：3月担当例会

日 時：2019年3月4日（月）19：30～20：00

場 所：クレイトンベイホテル3階 天の間

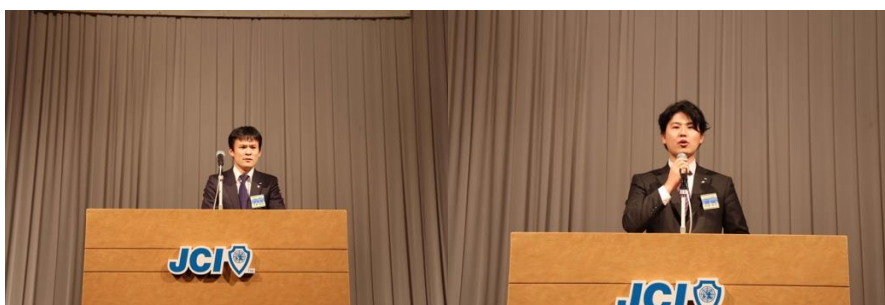
事業概要(方法)：呉WAVE創造委員会が考える、能動的なまちづくり事業を想定し、メンバーの方々から募集した川柳をもとに模擬事業を行い、事業への参加方法から委員会の掲げる基本方針と目的の説明を行なった。

①模擬事業「クレバト」を行うことで、メンバーがただ観覧するだけでなく、事業に必要な協力を頂くことで、事業に参加した経験として感想という共感を感じてもらった。

②その体験や感想をもとに、事業に対して能動的になるために必要となるきっかけや意義があることを基本方針として、今後事業展開を行なっていく事を説明した。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングを行い、その意見を基に効果を判断した。

本例会では、模擬事業という形式を用いて、メンバーの方々には参加者として、事業に携わる模擬体験を行なって頂いた。参加者として携わった事業が今後、より積極的に事業参加を促すための意義となる事を伝えることが出来た。



2. 事業名：5月担当例会

日 時：2019年5月7日（火）19：50～20：50

場 所：クレイトンベイホテル3階 天の間

協力団体：澤村 直樹氏（呉市復興総室 室長）

事業概要（方法）：外部講師、呉市復興総室室長、澤村氏をお招きし、講演会を通して今後の呉市復興の形を共有した。呉市民一人一人のまちづくりがこれからの復興であるとして、その上で当委員会が行う、事業計画のビジョンを説明した。

①呉市復興総室室長、澤村氏に講演を行なって頂き、呉市が考える今後の復興計画と私たち市民が取り組む復興の考え方を共有した。

②パワーポイントによる当委員会が考える復興として、市民が行うまちづくりがこれからの復興であるとして、当委員会の事業計画の説明を行なった。当委員会の事業を通して、まちづくりに呉市民を巻き込み、ともに作り上げることで、同じ目標への共感の波が、能動的な市民へのきっかけとなる事を伝えた。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングを行い、その意見を基に効果を判断した。

メンバーへは、当委員会が考える復興が、呉市民によるまちづくりである事を共有してもらい、市民とともに作るまちづくりを通して、その意義を感じていただく事業が、能動的となるきっかけになる事を伝えることが出来た。しかし、本例会の段階で、具体的な事業計画が審議可決しておらず、メンバーの協力や事業の説明を行うことが出来なかった。



3. 事業名：ア 地域魅力再度発見事業 呉WAVE創造事業 I

呉Reborn Fes

日時：2019年10月5日（土）11：00～18：00

（2019年9月22日（日）の延期開催）

場 所：呉ポートピアパーク

協力団体：日本酒ブース 11団体

(三宅本店、相原酒造、榎酒造、宝剣酒造、盛川酒造、林酒造、水龍中野本店、藤原酒造、今田酒造本店、江田島銘醸、柄酒造)

ワークショップブース 10団体

(Salon COMME MOI、muguet、プリンセチア、Surya、n. a. z. u. k. i & くるみや、Anonena-ni、AKKA、ROPA、フローリストなかむら、Reborn Rabo)

飲食ブース 9団体

(わらや、ナリポ、リカーショップマエカワ、バベル、おとく屋、香木堂海のYEAH!!、SHINO、ユニオンスクエア)

ステージ出演者 3団体

(ライブペイント ch i k u、さらさ、フローリストなかむら)

ボラ写PROJECT 代表 汰木 志保氏 災害展示 写真提供

株式会社サスケコスモス 呉氏スライダー

ユニオンフォレスト株式会社 協賛企業

事業概要 (方法)：呉ポートピアパークにおいて、復興祈念事業を行なった。

①会場内に日本酒ブース、ワークショップブース、飲食ブース、展示ブース、笹酒ブース、ステージ、呉氏スライダーを設え来場者の方々が楽しみながら復興による活気を感じて頂いた。

②日本酒ブースでは、戦前には活気があった呉市の日本酒を改めて、その魅力を感じて頂くことにより、新たな復興の象徴として知って頂いた。呉市にワークショップブースでは、来場者の方々にサービスを体験して頂き、自身の手で作る楽しさを感じて頂いた。ステージでは、ライブペイントにより、多くの方々からの支援によって行われた呉市の復旧と、作品の仕上げを来場者の方々に手伝ってもらうことで、これからの復興を皆で作りに上げていく事を表現した作品を作った。笹酒ブースでは、天応の地の文化を用いて、来場者の方々のおもてなしを行なった。展示ブースでは、災害復旧に尽力して頂いたボランティアの方々を写真で見え、改めてこれからの復興に対する気運を高めて頂いた。

検証方法と効果：WEBアンケートを用いて来場者にヒアリングを行なった。

①会場内に様々なブースを取り入れることにより、来場者の多くに楽しんで頂くことが出来た。その中でも日本酒ブースは、本事業の目玉となることが出来、来場者や協力して頂いた酒蔵の方からは、もっと日本酒を取り入れた事業を行なって欲しいといった感想を頂戴することが出来た。また、ワークショップブースにおいて、メ

インの広報が、日本酒ブースに偏ってしまったことにより、ブース間での活気の差が見られてしまった。ワークショップについて、この後行われた呉WAVE創造事業Ⅱへの参加者募集も兼ねていたため、その点を重視した工夫を行う必要があった。

②それぞれのブースにおいて、呉市の復興と天応の地に活気を盛り上げる目的があった。たった1日でもこの日は、多くの参加者の方々に来場をいただき、また美味しい日本酒と食事、親子で楽しめるワークショップといったブースで、楽しんで頂くことが出来た。このような、人々が笑顔で楽しめ、また呉市に活気溢れる様子を作ることができたため、また新たなまちづくりが呉市復興へと繋がる道筋を感じて頂けたものとする。



4. 事業名：ア 地域魅力再度発見事業 呉WAVE創造事業Ⅱ
KURE CENTRAL PARK CRAFT GARDEN
～Reborn Fes2～
- 日時：イベント開催日時
2019年11月10日（日）10：00～15：00
事前カンファレンス開催日時
反省会兼主催者会議 10月5日（土）
第一回会議 10月16日（水） 13時00～14時30
第二回会議 10月26日（土） 13時00～14時30
第三回会議 11月 3日（日） 13時00～14時30
- 場所：呉中央公園

協力団体：出店ワークショップ出店者 20団体

(Salon COMME MOI、n. a. z. u. k. i & くるみや、Miny、1 + 1、Fleurage321、Kengi tomiyama、フローリストなかむら、anonena-ni、すどう雑貨店
イロトリドリノセカイ、柴田 翠光、RE I G A L O、葉守の garden
ハンドメイドパレード、meme.、シュレーゲル、ROPA、& isMe、Pikkusuosikki、
Zoohappyzoo)

新規ワークショップ出店者 10名

事業概要（方法）：呉中央公園において、既存のワークショップ20店舗と新規のワークショップ10店舗によるワークショップイベントを行なった。

①呉WAVE創造事業Iにおいて行なったアンケートから、本事業にて出店に挑戦する協力者を募集し、全3回の事前カンファレンスを経てイベント当日に出店して頂いた。事前カンファレンスでは、ハンドメイドパレードの方々に講師のご協力を頂き、出店に必要な勉強会を行なった。

②イベント当日では、全30の店舗が連なる会場を呉中央公園に展開した。また、JCとして、SDGsを用いた射的ブースを提供した。この日は、当団体の事業の他に、食の祭典やJA祭りが近くで行われていたため、来場者の動線づくりとして、サンドウィッチマンやチラシ配りを行なった。

検証方法と効果：出店者及び新規出店者へアンケートを行い、評価を行なった。

①事前カンファレンスを行うことにより、新規出店者の方々が、本事業でプロの出店者にも目劣りしない店舗を出店することが出来た。また、事業当日だけでなく事前準備から参加して頂くことにより、この事業を当団体だけでなく、ともに作り上げた事業として、より一層の思い入れを抱いて頂くことが出来た。

②事業当日は、その他の場所においてイベントが開催されていたこともあり、初めてのイベントとしては、大変多くの来場者の方々を迎えることが出来た。そのおかげで、出店いただいたワークショップの方々からは、「野外のワークショップイベントとしては、他にないほどの来場者だった。」「1日中途切れることがなく、たくさんの方々にワークショップを体験して頂くことが出来た」と、大変好評なイベントとすることが出来た。また、新規出店者の方々からは、「貴重な体験が出来た。」「自分の作ったもので喜んで頂き嬉しかった。1日楽しむことが出来た。」と、まちづくりに携わることによって得られる、達成感や意義を感じて頂くことが出来た。



委員長報告

F i r s t S t e p 委員会

委員長 住岡 直哉

[スローガン] R e : A c t i o n

私は、「呉市民が呉のまちの事を考え、次世代へ誇れる活気溢れる力強い呉市へとなるはじめの一步を創り出す」ことを目標にこの1年間活動を行ってまいりました。

高度に情報化の進んだ現代社会において、他者との関わりは希薄化し、地域への関心も薄れ、まちと関わりを持たない人々が増えてきています。私は、こうした人たちが社会へ関心を持ち、自らまちの為に積極的にアクションを起こせる市民となれば、私たちの住むこの呉は活気ある街へとなれると考えました。

当委員会には、青年会議所という単年度制の団体が行ってきた事業において地域の方から「また、やってほしい。」といった声があるものについて地域の人と一緒にその事業を実施するミッションも与えられていました。

そこで、呉J Cリメイク事業Ⅰにおいて過去の呉J Cの事業紹介を行い、まちの人のニーズを探り、呉J Cリメイク事業Ⅱにおいて実際にまちの人と協力して事業を実施することとしました。

当委員会の1年間の集大成である呉J Cリメイク事業Ⅱでは広商店街の8店舗にご協力いただき、子供たちに職業体験と思い出作りをしてもらうことができました。事業終了後にはご協力いただいた方から「またやりたい」「来年はどうしようか」といった声をいただき、参加してくれた子供たちからは「来年も参加したいので対象年齢を拡大してほしい」「また来年も同じメンバーで集まって事業に参加したい」といった感想をもらいました。

ご協力いただいた方、参加してくれた子供たち、いずれの皆さんにもまちづくり活動の成功体験を与えることができ、まちへの関心を高めていただけたと感じています。

今後、事業にご協力いただいた方、参加してくれた子供たちと手を取りあって呉市を盛り上げていくことを心から楽しみにしています。

委員長としての1年間は非常に濃密で私自身もまちへの関心がまだまだ足りなかったのではないかと痛感させられる時間でした。多くの方の協力や助けがあったおかげで今に至っています。心から感謝をするとともに、今後も私たちの故郷「呉」のために自ら率先して行動できる人物であることを誓いたいと思います。

1年間、本当にありがとうございました。

事業報告

1. 事業名：ウセミナー事業（4月担当例会）

日 時：2019年4月1日（月）19：50～20：50

場 所：クレイトンベイホテル3F 天の間

事業概要(方法)：当委員会の年間事業計画をJCメンバーに伝えるとともに、呉みなと祭で実施する「呉JCリメイク事業I『BACK TO THE 呉JC～戦国呉みなと祭の陣～』」についてその目的と効果、実際の流れを説明した。

- ①プレゼンテーションによる年間事業計画の説明
- ②呉JCリメイク事業Iの目的と効果の説明
- ③寸劇による自己効力感の説明
- ④実際の事業の流れの説明

検証方法と効果：メンバーにヒアリングを行い、その意見を基に効果を判断した説明挨拶の中で一部、言葉に詰まることもあったが、バンデュエラの法則を紹介することで目的と効果をわかりやすく説明することができた。



2. 事業名：エ 地域イベントへの参加（呉JCリメイク事業Ⅰ
『BACK TO THE 呉JC～戦国呉みなと祭の陣～』）

日 時：2019年4月29日（月）10：00～15：00

場 所：呉みなと祭会場内市役所前広場及び市役所1F多目的ホール

協力団体：呉まつり協会

事業概要(方法)：過去の呉JCの事業（平成元年～平成30年まで）を紹介するパネルの展示及び、事業の一部を体験してもらうブースの設置を行った。

①過去事業紹介ブースの設置

②プチリメイク事業体験ブースの設置

検証方法と効果：過去事業紹介ブース、プチリメイク事業体験ブースにて参加者にアンケートを実施し、多くの市民の方々に過去事業紹介をする事ができた。



3. 事業名：ウ セミナー事業（8月担当例会）

日 時：2019年8月7日（月）19：50～20：50

場 所：クレイトンベイホテル3F 天の間

事業概要(方法)：呉JCリメイク事業Ⅰで行ったニーズ調査の結果報告と呉JCリメイク事業Ⅱの説明を実施した。

①プレゼンテーションによるニーズ調査結果の報告。

②ムービーによる地域の方の声の紹介

③呉 J C リメイク事業Ⅱの目的と効果の説明。

④実際の事業の流れの説明

検証方法と効果：メンバーにヒアリングを行い、その意見を基に効果を判断した。

呉 J C リメイク事業Ⅱの事前日程が遅れていたこともあり当日の計画通りに進められない点多々あった。

しかしながら、実際の事業実施に向けて多くのメンバーの協力を仰ぐことができた。



4. 事業名：ア 地域魅力再発見事業 呉 J C リメイク事業Ⅱ
『こどもHERO商店街2019』

日 時：2019年8月25日（金）14:30～

～8月26日（土）16:30

場 所：広商店街及び大空山青年の家

協力団体：広商店街振興組合他

事業概要(方法)：広商店街近隣の商店にご協力いただき、子供たちとオリジナルメニューを作成・販売した。初日にはご協力いただける店舗で実際の商品作成や接客マナーについて子供たちに指導していただき、翌日の模擬店舗の営業に備えた。

①各協力店舗での勉強会

②店舗で学んだことのまとめと他のグループへ向けての発表

③模擬店舗の設営

④模擬店舗でのオリジナルメニュー販売

検証方法と効果：参加者の保護者、協力店舗、来場者、近隣商店に対してアンケートを実施し判断した。

「子供たちが模擬店舗を出店することでにぎわいを生み出すことができた。商店街の夜市に生かせないか考えたい。」「子供たちが一生懸命に取り組んでいる姿に感動した。」「子供の成長にもつながり、思い出にもなったと思う。また参加させたい。」といった意見を得られた。

また、当初の見込みよりも多くの来客があり、準備していた商品が終了時刻前に売り切れた。

参加した子供たちからは「来年も参加したいので対象年齢を拡大してほしい」「お店のひとつから習ったことを家で生かしたい」「お祭や学校でも同じことをやってみたい」といった感想があった。



委員長報告

Vitality Town委員会

委員長 大下 典之

[スローガン] 活力の源を創造し、誇り高き呉市民へ～NEVER GIVE UP!!～

私は2019年をまさに「復興元年」と位置づけ、サマーフェスタを開催し市民の皆様に当団体の復興に対する価値観に共感して頂き、活力の源となるような事業を行うことで「やっぱり地元呉は最高だ」と誇りをもってもらえるよう1年間活動してまいりました。

サマーフェスタでたくさんの市民と一緒にダンスを踊るために登美丘高校ダンス部顧問であるakane氏に呉市歌をダンスミュージック調に編曲してもらい、呉の復興を象徴するような振付けとして「バイタリティダンス」を制作してもらいました。そして、この「バイタリティダンス」を多くの市民に知って頂く為にSNSで拡散しながら毎年数十万人の来場者で盛り上がるみなと祭のパレードに参加しPRを行うと同時に、サマーフェスタを行う為にクラウドファンディングで資金を集めるというPRをさせて頂きました。

クラウドファンディングは当会議所67年間の歴史の中で初めてのことであった為、3月担当例会では戎健太郎先輩をお招きし、講師例会を行いました。その結果、会員や市民の皆様のお陰をもちまして支援金目標金額以上の2,250,000円という金額を達成することができました。

2019年は「呉鎮守府」開庁130周年記念の年でもあり、日本遺産「呉鎮守府」開庁130周年記念呉サマーフェスタ2019と題してサマーフェスタ実行委員会を設置し、当委員会が舵取りさせて頂きながら海上自衛隊呉地方総監部広報係を始め、官民多くの関係者が協力して頂いたことで無事に開催でき成功することが出来ました。

晴れ渡った夏空の下、若者500人が同じTシャツを着て踊る「バイタリティダンス」は想像をはるかに超える光景であり、一生懸命踊っている姿をみて頂いた方に感動を与えることが出来ました。そして、たくさんの市民に「呉は最高だ」と呉を誇りに感じて頂いたことと思います。

我が事以上に支えてくださった上司と委員会スタッフを始め、本当に本当に多くの方のご支援、協力を賜り事業を成功させることが出来ました。当委員会の行ったどの事業も私の生涯で二度と経験することがないと思います。このような経験をさせて頂いたこと、当委員会事業に関わって頂いた全ての方に心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

1. 事業名：ウ セミナー事業（3月担当例会）

日 時：2019年3月4日（月） 20:00～20:50

場 所：クレイトンベイホテル 3F 天の間

協力団体：2018年度一般社団法人大阪青年会議所監事

2018年度日本青年会議所 LOM支援グループ褒賞委員会副委員長

株式会社戎工務店 代表取締役 戎 健太郎先輩

事業概要（方法）：本年度当委員会が行う事業プランを円滑に運営するため、当委員会の基本方針を周知して頂いた。またこれから行うクラウドファンディングの説明と協力を仰ぐため、2018年度日本青年会議所で実績のある戎先輩をお招きし、講演を行った。

当委員会もクラウドファンディングという言葉を知ったことあるくらいでクラウドファンディングがどういうものなのか詳しく知らない、またクラウドファンディングを行ったことがない会員ばかりだったため、わからない会員から小手先だけの説明例会を行っても目的を達成することはできないと考え講師例会を行うことが有効だと考え講師例会を行い共有した。

検証方法と効果：当会員へヒアリングを行った。基本方針については、趣旨説明の場面でバイタリティダンスの動画を流したことにより、メンバーの注目を集めることが出来た。このダンスを自分が踊るのか、それとも別の誰かが踊るのかと正解を言わない事で、良い意味でメンバーの心を揺らすことが出来た。この心の揺れを起こすことで、当委員会の基本方針に興味を持って頂けた。クラウドファンディングについては、「目的はお金集めだが、それまでのプロセス、協力、繋がりなどで、最終的な目的のお金以上の価値が得られると感じられた。」「クラウドファンディング自体の理解度は、受ける前より受けた後の方が間違いなく深まった。」「まずは全員で行うことが大事、スタートダッシュが大事であると理解できた。」などの意見をもらった。最高の流れで委員長挨拶が出来たことで、当会員が行う事業プランの想いを全員で共有することが出来た。





2. 事業名：ア 地域魅力再度発見事業（活力あるまち創造事業Ⅰ～「Vitality
ダンス」の創造・広報～）

日 時：2019年3月29日～2019年8月25日

場 所：呉市・呉市近郊

協力団体：D. O. D株式会社 アカネキカク

独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校 ダンス部

広島県立呉宮原高等学校 ダンス部

P a l m

DANCE&FITNESS STUDIO G1

FLEX

事業概要（方法）：呉のまちの復興の象徴となるエモーショナルな表現を創造し、能動的市民をつくること、そしてサマーフェスタで若者を中心とした活力の源となるようなダンスを実施することに先立ち、

①アカネキカクに「呉市歌」の編曲を依頼し a k a n e 氏にダンス振付を依頼した。

②出来上がった曲を「バイタリティダンス」とし、それをもとに反転やスローモーションバージョン等練習用動画を作成した。

③呉近郊のダンス部がある高校と大学とダンススクールに周知し、上記4団体に撮影協力をして頂き、バイタリティダンスを踊っている動画を撮影し各種SNSに投稿した。また、参加いただいた方には個々のアカウントでも投稿してもらうようお願いをして拡散を行った。

検証方法と効果：Y o u T u b e に投稿されている練習用動画の閲覧回数2,000回を目標に動いた結果、総再生回数14,205回と大きく上回ることが出来、多くの方々にバイタリティダンスを広めることが出来た。また、この動画を各自で観てもらうことにより自分で練習することが可能になり、サマーフェスタ当日も500名がスムーズに一斉に踊ることが出来た。そしてサマーフェスタ以降も踊りたいという市

民の皆様からの要望もあり、多くの市民に広げることが出来た。
当会員のヒアリング結果も「akaneさんという旬な人をクリエイターとして選定して、とてもポップでキャッチーなダンスが出来たと思います。」「アカネキカクさんとのコラボは多くの方に興味を持ってもらえ、ダンス自体も素晴らしいものが出来、多くの方の目にとまり良かった。」と共感が出来た。



3. 事業名：エ 地域イベントへの協力事業（クラウドファンディング）

日 時：2019年4月23日～2019年6月19日

場 所：インターネット上 クラウドファンディングサイトFAAVO広島

協力団体：広島翔洋高等学校 ダンス部

広島文化学園大学 ダンス部

P a l m

F A A V O 広 島（株式会社エネルギー・コミュニケーションズ）

D . O . D 株式会社 アカネキカク

澎湃館

海上自衛隊呉地方総監部

呉まつり協会

事業概要（方法）：当団体の復興への価値観を市民にも共感して頂くことのできる方法としてクラウドファンディングを当会議所で初めて利用した。そして、市民と共に事業を創れるよう支援金2,000,000円を目標に告知し費用を募った。

①FAAVO広島を媒体として選び、念密にプロジェクト掲載ページの制作を行った。

②呉最大級の祭であるみなと祭にてパレードを行った。マイクパフォーマンスを行いながら、会員をはじめ広島翔洋高等学校、Palmのダンサーのご協力を得て、市民に向けてバイタリティダンスの初披露を行い、クラウドファンディングの周知を行った。

③パレード中クラウドファンディングサイトFAAVO広島にアクセスできるQRコードを印刷したチラシを配布した。

④クラウドファンディングの支援者には、日本遺産「呉鎮守府」開庁130周年記念呉サマーフェスタ2019を記念した非売品と海上自衛隊に協力を得た特別なリターン品等を用意しクラウドファンディング終了後9月末までに配布した。

⑤サマーフェスタに向けてダンス経験者を中心に500名を目標に仮申込書を制作し募集を開始した。

検証方法と効果：クラウドファンディングは支援金2,000,000円を目標とし当会員へのヒアリングを行い、意見を集めた。

みなと祭の当日は雨というコンディションにも関わらず、協力して頂いた多くの会員やダンサーの皆様が楽しそうにパフォーマンスを行ってくれたお陰でたくさんの市民に周知できた。

目標金額2,000,000円を達成し、総支援金2,250,000円を集めた。「呉JC初のクラウドファンディング挑戦が無事目標達成でき、良かったと思う。」「この事業成功に向けた努力を感じられたことが成功の要因だと思う。」という意見があり会員からも共感して頂いた。

支援者数は延べ114名で、外部からの支援は60名（呉市民は24名）、当会議所会員からは46名の支援を頂いた。当会議所会員の支援者数より、外部の支援者数が多かったことが、共感の波が市民へと広がったと考える。支援金額においては当会議所会員と、その他支援者の支援額の割合は1,566,500円に対し683,500円であ

った。JC関係者と、その他支援者の支援額の割合は1,828,000円に対し422,000円で、比率は81%対19%だった。



4. 事業名：ウ セミナー事業（7月担当例会）

日 時：2019年7月1日（月） 19：50～20：50

場 所：クレイトンベイホテル 3F 天の間

協力団体：なし

事業概要（方法）：活力あるまち創造事業Ⅱ（サマーフェスタ）を円滑に運営するため、当委員会の方針を周知し「サマーフェスタ」の実施目的を伝えた。また、バイタリティダンスの当日配置や振付け等の説明をする事により会員に協力を仰いだ。

- ①当委員会集大成となる事を感じさせるオープニングムービーを使用し、サマーフェスタへの興味を持って頂いた。
- ②クラウドファンディングの結果報告を行い感謝を伝えた。
- ③活力あるまち創造事業Ⅱ（サマーフェスタ）について目的と当日配置について共有した。
- ④バイタリティお兄さんの設定でバイタリティダンスのイントロ部分のダンスレクチャーを行い全員で踊った。
- ⑤各テーブルを当委員会メンバーで分かれて回り、サマーフェスタでの会員の役割についてテーブル毎に説明を行った。

検証方法と効果：会員のヒアリング結果によると、「委員会全体の雰囲気良く、熱い

想いが伝わった。」「当日の事業に向けて一体感が生まれた。」という評価を頂いた。ムービーの最後には a k a n e 氏に特別出演を頂いたことで全員の気持ちを鼓舞できた。また全員で上着を脱いでバイタリティダンスを踊った事で、一体感が生まれ当日に向けて良い雰囲気を作れた。

伝える事が多くあった為テーブル毎に説明し、質疑応答したことで理解して頂くことができた。当日も73人中60名という多くの会員が朝早くから夜遅くまで参加して頂き、当日もスムーズに進行することが出来た。



5. 事業名：ア 地域魅力再度発見事業（活力あるまち創造事業Ⅱ～日本遺産「呉鎮守府」開庁130周年記念呉サマーフェスタ2019～）

日 時：2019年7月27日（土）12：00～14：00

場 所：海上自衛隊呉地方総監部城山グラウンド

協力団体：海上自衛隊呉地方総監部

呉サマーフェスタ実行委員会（海上自衛隊呉地方総監部、呉市、呉まつり協会、呉青年会議所）

事業概要（方法）：海上自衛隊呉地方総監部城山グラウンドを一般開放し日本遺産「呉鎮守府」開庁130周年記念呉サマーフェスタ2019を開催した。呉ならではの海上自衛隊内という特別な場所で多くの市民と共に事業を行った。クラウドファンディングで集まった支援金を使って参加登録者全員にオリジナルTシャツを配布した。またドローンと高

所作業車を使って壮大な空撮も行った。

グラウンド内は一般開放中であつたがサマーフェスタ実行委員会と調整を行い、バイタリティダンス実行の為会場を2時間のみバリケードをして20人1組、25組の計総勢500人のダンサーを指定の場所に誘導し整列してバイタリティダンスを2回踊った。

撮影した映像はその場で編集して花火大会前に大型スクリーンで市民の皆様に鑑賞して頂いた。

復興に関わって頂いた全ての方々に呉の元気な姿を観て頂きたいという想いで、事業後サマーフェスタ全体と合わせた映像を制作し、完成した動画をYouTubeに投稿した。

検証方法と効果：会員とダンス参加者にヒアリングを行った。「簡単なダンスではなかったが、踊ったあとの達成感がすごかった。」「他の場所でもバイタリティダンスをパフォーマンスしたいと思った。」「ダンスも場所も呉を感じることができ、呉っていいなって思った。」等の意見を頂いた。猛暑の中多くのダンサーに参加して頂き無事に成功することが出来たことで参加者は達成感を得ることができ、呉のまちを誇りに思うことが出来た。そして、このバイタリティダンスを成功に導くために海上自衛隊呉地方総監部をはじめ実行委員会や会員の皆様にご協力して頂き多くの人に関わった事で、復興に向かって共にまちを盛り上げるという当団体の価値観を共有してもらうことが出来た。また、官民が主催となってこの事業を行ったことで、復興に向かう呉のまちのPRも行うことが出来た。





委員長報告

シーズアカデミー委員会

委員長 木内 裕之

〔スローガン〕 ころ豊かに協調性を育む

2019年度、アカデミーは本来の委員会という形に戻り、会員拡大とアカデミー事業を展開してきました。スタッフを始めフォロアーメンバーも個性豊かな方が集まり、たくさんの意見等を頂きながら活動してまいりました。

まずは、仮入会目標を20名とし、たくさんの方々の支援を頂いたにも関わらず、12名にとどまってしまいました。しかし、12名の仮入会員ではありましたが、全員が自分で仮入会をしてみたいと意思表示があり、大変心強いものを感じたのを覚えています。

「ころ豊かに協調性を育む」をスローガンに、仮入会員の皆さんともコミュニケーションを取りながら、オリエンテーション、セミナーⅠ・Ⅱ、仮入会会議、他委員会事業の参加、またブロック事業など、たくさんの時間を共有してきましたが、仕事等の都合上12名が全員参加できていない事業がたくさんあり、なかなか仮入会員同士の協調性を育むことができませんでした。私が、仮入会員と楽しく過ごす事に専念していたせいも、厳しく指導することができていなかったのも原因である。100%正会員に移行できるよう、当委員会もできる限り尽力を尽くしてきましたが、12名中5名の42%と近年では少ない入会になってしまいました。

しかし正入会となった5名は、一人一人が個性豊かで明るく、「まち」について熱い思いを持っています。私はこの5名に期待をしています。

最後に、一年間支えてくださった方々に心より感謝申し上げます。

事業報告

1. 事業名：2月オープン例会

日 時：2019年2月4日（月）19：00～22：10

場 所：クレイトンベイホテル 3階 天の間1・2

協力団体：奥原 誠次郎先輩 杉原 侑加子先輩 渡邊 聡先輩

事業概要（方法）：JCの特別会員をお招きし「若者が時代を切り開く」をテーマとし講演会を実施。実施形式としてはオープン形式とし、現役会員と19年入会候補者、または入会してもらいたい一般の方に参加していただいた。一般参加者にもセレモニーから参加していただき、天の間1・2にて通常例会の形式、懇親会は天の間3で行った。参加費は一般の方無料、懇親会は1人2000円とした。一般参加者の動員方法については、当委員会にて企業訪問、FACEBOOKにて告

知、現役メンバーの協力でおこなった。

検証方法と効果：一般参加者に対してアンケートを実施した。

特別会員の先輩方々にまちづくり、ひとづくり、地域と企業の関わり、それらに関するJCの関わりについて語っていただいたことにより、一般参加者にJCの活動を知ってもらいJC入会に対しての意欲を上げてもらう事が出来た。また参加して頂いた20歳～38歳の若い世代の方に「街の森のアトリエ」の話からまちづくりにJCの経験が生きていることを伝え、JCの存在・活動を知ってもらう事が出来た。講演会を通じJCを理解してもらうことで興味を持って頂けた。世代の違うJCメンバーでも、JC入会を機に人との繋がりができ、それが素晴らしいことだと知ってもらえた。更に時間の使い方など、まち事業や人づくり事業を通して特別会員の皆さんが、どのようにJCと関わってきたか、卒業後にJC現役時代での活動がどのように変化していったか知る良い機会となった。一般参加者にアンケートを記入してもらえたことで今後の会員拡大のフォローアップに繋げる事が出来た。また一般参加者は、まちに対しての想いを見つめ直し考える良い機会となった。当会議所に入会してみたい、興味が出た参加者が最初に会った時よりも増えていたことは、大きな成果だと言える。その結果を元に、拡大活動を行い12名の内6名が2月例会参加者である。



2. 事業名：入会候補者面接

日時	2019年3月 9日 (土)	18:00~19:05
	2019年3月 20日 (水)	18:30~19:24
	2019年3月 24日 (日)	9:30~ 9:48
	2019年3月 25日 (月)	18:00~18:22 20:50~20:58
	2019年4月 1日 (月)	18:00~18:31

場 所：クレイトンベイホテル 3F 花の間、琥珀の間 2F ラピス
事務局

協力団体：なし

事業概要（方法）：横断幕を作成し、入会候補者3分・スポンサー1分のスピーチを行った。スピーチのテーマは「呉市の課題」「呉JCでやりたいこと」「自分が成長するために必要な事」「いま一番力を入れていること」の中から選んで頂いた。また審査委員会より質疑応答を行った。

検証方法と効果：次年度以降も使用できる横断幕を作成することができた。また厳粛な雰囲気の中、入会候補者面接が行え、テーマを4つに分けたことで、入会候補者の個性あるスピーチを聞くことができた。質疑応答を設けたことで入会候補者の人となりにより理解することができ、また候補者側にも現役会員の真剣さを伝えることができた。



3. 事業名：仮入会員オリエンテーション

日 時：2019年4月21日（日）10:00～14:07

場 所：ビューポート呉 3階 大ホール
海軍の麦酒館

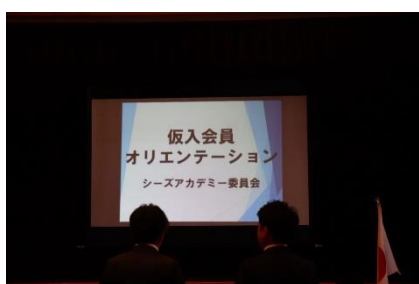
協力団体：なし

事業概要（方法）：青年会議所についての基礎知識、呉青年会議所の歴史や繋がり、過去事業について、添付資料やPPを活用しながら委員会メンバーで講義を行い、また過去事業についての講義では2018年度「OTEK委員会」銭原委員長によるプレゼンテーションを行った。さらに仮入会員による各個人による自己紹介を行った。その後海軍の麦酒館にて懇親会を行った。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行い、意見を求めた。

青年会議所の概要や歴史を説明することで、先人がこれまで築き上

げてきた歴史と想いを伝えることができ、基礎知識を説明したことで規範をもって活動を行っている団体だということを伝えることができた。更に当委員会スタッフ、並びに現役会員にとっても、良い復習になりJCを再認識することができた。また銭原委員長によるプレゼンテーションを行ったことにより、委員会ごとの役割や活動内容を理解していただき、委員長の仕事の大変さとやりがいの大きさを感じ取って頂けた。また自己紹介の時間を設けたことで、仮入会員一人ひとりの個性を垣間見ることができ、現役会員に知っていただくことができた。その後、懇親会でトーク時間を設定したことで、仮入会員一人ひとりと現役会員が班ごとに短い時間ではあったが、とても内容の濃い話ができて、互いの繋がりを作ることができた。



4. 事業名：仮入会員セミナー I

日 時：2019年5月25日（土）10：30～18：30

場 所：国立江田島青少年交流の家

協力団体：なし

事業概要（方法）：セレモニーから始まり、仮入会員カッター班、現役会員カッター班、設営班と3グループに分け、各グループに対し趣旨説明を行ったのち仮入会員カッター班、現役会員カッター班に分かれグループディスカッション型のカッター訓練を行った。
設営班は、カッター訓練後の懇親会をスムーズに行う為にBBQ準備を行い、懇親会を開催した。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行い、意見を求めた。

通常例会セレモニーに対し会場が変わっても厳粛な空気の中、セレモニーを実施出来た。仮入会員カッター班、現役会員カッター班、設営班の3グループに分け趣旨説明を行った事でそれぞれのグループへ課題や役割を周知出来た。また昼食を江田島青少年交流の家で行ったことにより、タイムスケジュール通りにセミナーを進める事が

出来た。バイキング形式で自由席としたことで、仮入会員と現役会員が食事時間を共にでき、懇親の場にもなった。そしてカッター訓練においては、従来のカッター訓練とは違い、仮入会員カッター班と現役会員カッター班に分けグループディスカッション型のカッター訓練を行ったことで、仮入会員は自分達で班のリーダーや掛け声などを決め主体的且つ協力的に行動する事が出来た。現役会員は、もともとあったチームワークがより強固なものとなりお互いの絆が深まった。訓練終盤、2艇での対戦型タイムトライアルを二回行い、仮入会員カッター班と現役会員カッター班ともに一回目の記録より二回目の記録の方が良かった。記録が伸びた理由は、両チーム共、負けたくない気持ちが強かった事もあるが、一回目の終了時点で行った作戦会議の中で漕ぎ方や掛け声、ターンの方法など各班でディスカッションし二回目に挑んだ事で全員が一つの目標に向かって進めたからであると考え。何より参加者メンバーが楽しみながら研修を行い、協調性を育む事が出来た事は大きな成果である。

カッター訓練後、現役会員と仮入会員が混在したグループに分かれ懇親会を行った事で、現役会員と仮入会員がしっかりコミュニケーションを取る事が出来た。JC活動の話や過去の経験で良かった話、また社会人としての話など現役会員が仮入会員をフォローしている場面が多く見られた。懇親会中、カッター訓練の中で行われたディスカッションを振り返り、テーマを「目的達成のために必要なこと」またなぜそれが課題達成に必要であるか感じたこととし、仮入会員に一人ずつ発表して頂いた。仮入会員は、緊張もあった事でテーマに沿った受け答えが少し出来ていなかったが、「チームワークを発揮出来た、全員で協力して勝利することが出来た、何より一日を通し現役会員と楽しみながら過ごすことが出来た、事業に呼んで頂きありがとうございます」など、感謝の言葉も聞いたことは大きな成果である。



5. 事業名：仮入会員セミナーⅡ

日 時：2019年7月6日（土）14：00～7月7日（日）11：20

場 所：桂浜温泉館

倉橋町火山

倉橋まちづくりセンター

シーサイド桂ヶ浜荘

呉市倉橋体育館第2会議室

協力団体：特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

松原裕樹氏

事業概要（方法）：セレモニーを行い4グループに分け、登山者全員に対し趣旨説明と注意喚起を行ったのち、アトラクションを5カ所設け、倉橋島火山登山を行った。同期入会ごとのグループに分かれ大懇親会でBBQを行い、クイズ形式のゲームを設け、参加した仮入会員がそれぞれのグループを行き来した。懇親会の中では、JCIクリード等暗唱テストの追試を行った。翌朝は、クリーン活動を行い、ひろしまNPOセンターから講師を招き、SDGs座学を行った。その後閉会式を行った。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行い、意見を求めた。

通常例会セレモニーに対し会場が変わっても厳粛な空気の中、セレモニーを実施出来た。また、火山登山の4グループに分け趣旨説明を行った事でそれぞれのグループへアトラクションや登山のルールを周知出来た。参加人数の関係もあり、正副事務局ライン・各委員会ラインの4グループ5～7名で登山を行った。5カ所のチェックポイントでは、水の量を増減するアトラクションを用意していた為、メンバーにはグループ毎に合計40リットルの水入りペットボトルを持って登山を行ってもらった。天候も良く重たい水を持っての登山で非常に体力を使うプログラムであったが、会員メンバー同士、そして仮入会員も一緒に厳しさを乗り越える事で、お互いを深め合い協調性を育むことが出来た。各アトラクションでクリード等のテストを行い、現役会員は再確認の場となり、仮入会員は厳しい道中、同じグループの現役会員にサポートしてもらいながら絆を深める事が出来た。水を持っての登山という負荷の中、ゲーム有り、テスト有り全員が協力し合いゴールを目指し、何より参加者メンバーが楽しみながら達成感を味わってもらったのは大きな成果である。

大懇親会においては、席配置を同期メンバーのグループとし大懇親会を行った事で、同期メンバー同士、当日の登山やアトラクションの話題、日頃のJC活動や近況などを語り合え、非常に盛り上がり絆を深める事が出来た。食事中、登山アトラクションの成績発表を行い、優勝グループと準優勝グループに景品として豪華お肉セットとお酒を贈呈した。木内委員長と景品を受け取ったグループメンバーの計らいもあり、景品が仮入会員中心に振る舞われ会場の雰囲気が一気に上がった。仮入会員一人一人に自らのことを題材とした個々の個性をアピールできるようなクイズを3つ出してもらい、現役会員に答えて頂いた設えは、仮入会員の名前と顔とキャラクターを覚えて頂く良い機会となり、更には、仮入会員のドラフトというゲームを取り入れ、現役会員の席へ混ざり飲食を共にした事で同期の良さを伝える事が出来、仮入会員と現役会員の協調性は、より強固なものとなった。さらに、大懇親会后、参加した仮入会員は暗唱テストの追試に

挑んだ。合格のタイミングは個々人で差が出たが、全員で目標をクリアしたいという仮入会員同士のチームワークが全面に表れていた。お互いを助け合い、励まし合いながらテストを行った事で仮入会員同士、協調性や絆を深めることが出来た。宿泊予定でなかった仮入会員が急遽宿泊した事は、その結果である。

2日目は、起床後、大懇親会で使用した会場周りを清掃した事は、宿泊先に対し感謝の念を行動で伝えることが出来た。そして、まだ完全に身体が目覚めていない状況で良い運動にもなった。また、全員で取り組んだ事は、それが無意識のうちにチームワークや連帯感へ繋がっていた。その後、ひろしまNPOセンター事務局長の松原裕樹氏を講師招致し、SDGsゲーム「X（クロス）」を使用したワークショップ形式にて座学を実施した。SDGsの基礎知識や動画を使用し、SDGs目標ロゴカードを使って広島の問題や自分達がどう貢献出来るかをグループ討論し、最後にSDGsゲームを行った事で、SDGsについて理解を深める良い機会となった。最後に、礼に始まり礼に終わる、やはり基本は大切ですので2019年仮入会セミナーⅡの締めくくりとして、この2日間で学んだことを個々が振り返ることができる場として、厳粛に行うことが出来た。



6. 事業名：10月担当例会

日時：2019年10月7日（月）19：50～20：50

場所：クレイトンベイホテル3階 天の間 1

協力団体：なし

事業概要（方法）：仮入会員として呉青年会議所に入会し、明るい豊かな社会を実現するためには、呉のまちに対して自分達が何を感じ、考え行動できるかを仮想事業のプレゼンテーションで行った後、バッジ授与式を執

り行い、新入会員一人ずつ登壇しバッジ授与を行った。さらに、新入会会長の大町君が決意表明を行い、壇上にて井本理事長に奉書紙献上を行った。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行い、意見を求めた。

呉青年会議所という団体が何を行っているか知らない段階からスタートし、仮入会員期間を利用して色々な事業に参加し現役会員から話を聞き、少しずつ呉青年会議所について学んできたこと、その経験してきた事をもとに、仮入会員全員で呉のまちには何が必要なのか考え、協議し、地域のためにどのような事をすれば、明るい豊かな社会の実現ができるかアイデアを出し合った。そのアイデアを仮想事業に落とし込み例会で発表できるよう、仮入会員会議を重ね内容を熟考した。事業構築の過程を経験することによって、J Cの運営方法を身につけてもらい同時にチームワークや協調性を学んでもらうことができた。また現役会員は、新入会員の斬新且つフレッシュなプレゼンテーションを見ることにより、入会当時、自分達が何を考え行動していたかを思い起して頂きながら、新たな気づきや学びを持ち帰ってもらい、今後のJ C活動に活かして頂くことができた。

またバッジ授与式においては、ピンタイプを用いることで、スムーズに執り行うことができた。

バッジ授与式から新入会員となるにあたり決意表明をすることで、同期が意思統一できた。また決意表明奉書紙を理事長に献上することで、呉青年会議所に対しての想いが強固なものだと示すことができた。



委員長報告

PP×PR委員会
委員長 水野 清文

[スローガン] 「p r e s e n t e d b y k i y o」

1年間「パリピ」精神で広報活動を行ってまいりました。
私にとって「パリピ」とは「明るい、楽しい、盛り上がっている、盛り上げている」という人であり、パリピである私が先頭にたって行うことで、1人でも多くの呉市民が笑顔になるような広報活動を心掛けてきました。

私は、これまでも、青年会議所が、馴染みがない方にとって取っ付き難い団体であると感じることがありました。しかし、上記の広報活動を通じて、呉市民と呉青年会議所の関係が、より近く、より親密なものになることを1年間の目標としました。

そこで、ホームページやF a c e b o o k、インスタグラム、t w i t t e r等のSNSにおいて、事業告知や事業報告を行うに当たり、ただ単調に事業告知のチラシや事業風景の写真、紹介記事を掲載するだけでなく、呉市民の笑顔が増えるような工夫を試みました。

具体的には、2月例会の告知において、テレビ番組を模したインタビュー形式の動画を作成し、F a c e b o o kに投稿しました。SNSの投稿では、絵文字や顔文字を多用し、市民の方に親しみやすい文章で掲載しました。

9月の家族例会では、メンバーの家族を招待し、「WATER PARTY」と題した「水」を使った懇親会を行いました。
対外事業と同程度に真剣に考え抜いた催しに家族を招待することで、日ごろ私たちが行っているJC活動についての理解を家族に深めてもらいました。懇親会中、私たちが考えた催しで参加した子供たちが笑顔になってくれているのを見て、私自身も人を「笑顔」にするのが私にとってのJC活動だと再認識することができました。

最後になりますが、私が「明るく、楽しく」1年間活動ができたのは、多くの市民の皆様、関係者の皆様、呉青年会議所会員、特別会員の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

2019年度以降も呉青年会議所は広報活動を継続してまいりますので、皆様、引き続きよろしくお願ひ致します。

事業報告

1. 事業名：（総合広報ツール更新、管理事業①ホームページに関して、ア～カの事業の広報）

- ア 地域魅力再度発見事業（総合広報ツール更新、管理事業）
- イ フォトコンテスト事業
- ウ セミナー事業
- エ 地域イベントへの協力事業
- オ シンポジウム事業
- カ 呉まつり協会・呉市中学校野球選手権大会への助成

日 時：2019年度年間を通して

場 所：適宜選定する

協力団体：なし

事業概要（方法）：事業計画書及び、会員手帳を含む総合広報ツールとして、2019年度（公社）呉青年会議所のホームページを2019年度版から更新を行った。

①ホームページに関して

ホームページの更新と管理を行った。事業報告は、画像毎に文章を記載できるようにし、事業が終わる毎に更新を行った。ホームページのURLをhttpからhttpsに変更した。

②会員手帳に関して

冊子化した手帳は、特別会員、現役会員、JCの関係各所に配布した。手帳には個人情報に記載されているためナンバリングし、番号によってどの会員に配布された物が特定できるよう名簿を作成した。また、会員への配布手帳には、ホームページの会員ページへログインするためのパスワードを手帳裏に貼付し、パスワードの周知を行った。

手帳は、昨年同様、ホームページのコンテンツとしても盛り込んだ。会員パスワードは、シールに印刷し、現役会員、特別会員及び特別名誉会員の会員手帳に張り付け、名簿に関してはデジタルデータだけでなく、冊子として特別会員と現役会員、JCの関係各所に配布した。なお手帳発送時の案内文の中にユーザー名とパスワードを記載して、更に手帳の最後のページにもシールで貼ってある旨を記載した。

③事業計画書に関して

関係諸団体に手交、または郵送した。

ホームページ及びFacebookへの掲載も行い、自由に閲覧できるようにした。

検証方法と効果：ホームページのアクセス数より検証する。

ホームページを内部の例会、事業の報告を硬めの文章で、FacebookなどのSNSは外に向けての事業告知、報告、そして少し親しみやすいよう砕けた文章にし、ホームページとSNSの差別化を図

ったことはとても効果的で好評であった。また昨年の災害において、本年度の呉市の復興に関する事業のおかげで呉青年会議所が市民の目に触れる機会が増え、効果的な広報ができた。

2. 事業名：年間広報事業

日 時：2019年度年間を通して

協力団体：なし

事業概要（方法）：各種メディア、団体との連絡調整役を務め、各委員会事業の内容を十分に把握し、広報の方法や広報先などについては、各委員会と協議した上で広報を行った。

各委員会からホームページ、facebook、インスタグラムでの事業の告知や募集活動の要請があった際は、事業担当委員会に原稿を貰い、当委員会が校正を行い投稿した

検証方法と効果：メンバーへのヒアリング

事業後の報告記事は、なるべく事業翌日に投稿することを心掛けた。スピーディな投稿により、SNS等の報告記事には「いいね」やコメント等、参加者のレスポンスが多数あり、事業の感想をすぐに感じる事ができたとメンバーに好評であった。

3. 事業名：9月担当例会（家族、近親者例会）

日 時：2019年9月16日（月・祝）16時30分～18時30分

協力団体：なし

事業概要（方法）：グリンピアせとうちレインボーホールにてメンバーとその家族で懇親会を行った。

懇親会はメンバーの家族に「普段の家族生活においてはすることができない体験をすることができる機会」を提供するため、「WATER PARTY」をコンセプトに、水風船アート、水鉄砲射的、プール等、「水」を使用したブースや、食事については祭りの夜店風のブースを設営した。

各ブースは委員会毎に担当してもらい、参加した家族には各ブースを回ってもらうことで、メンバーと家族との交流のきっかけを作りだした。

子供たちにとって、より楽しめる1日になるようステージを設け、マジシャンによるマジックショーも行った。ステージでは他にもメンバーから家族へ向けた手紙を読むことで、家族に対して日ごろの感謝の気持ちを示した。

これらの非日常的な空間や、体験型のブースにより、奥様や子供の笑顔の溢れる家族例会を行えたと考える。

検証方法と効果：メンバー・参加した家族へのヒアリング

「子供達の笑顔が沢山見られた設えでしたし、開放感ある野外で楽しめた。」「現役会員の方々、ご家族の皆様含めて笑顔溢れる会になっていて楽しそうでした。」などの意見もあったが、「この会が家族の理解に繋がるかは分かりませんが、妻、子どもと楽しい時間を持てたのは夏の最後の思い出となりました。」「もう少し家族に対して、JC活動の説明や理解を得るものがあれば良かった。」などの意見もあり、家族に対して理解をえる難しさを痛感したが、より良い活動を行うには家族への理解と協力は必要であるとも感じた。



4. 事業名：年間事業報告作成

日時：2020年3月

協力団体：なし

事業概要（方法）：①1年間の事業活動をもとにワードにて作成し、PDF化したものをホームページ上に掲載する。

②布については、ホームページに掲載後にメンバー、特別会員、関係諸団体に案内する。現役、特別会員についてはメールで、関係諸団体については事業報告書作成の案内文を郵便にて配布し、閲覧して頂く。

③事業報告書を掲載したホームページのリンクをFacebook

kに掲載する。

検証方法と効果：年初に配布した事業計画書に基づき一年間に行った事業活動告をメンバー、特別会員、関係諸団体に広く周知することで、我々の活動を理解して頂き、次年度以降もより円滑に活動を行うことができるようになった。

委員長報告

S l a s h m y w a y 委員会

委員長 高橋 利齊

〔スローガン〕 S l a s h

2019年の一年間、私は例会・総会を担当する総務委員会の委員長を担当してきました。対外向けの事業は無いものの、各委員会や事務局と連絡を取り合って、円滑な例会運営を心がけてきました。月に一度、呉青年会議所のメンバーが集まる例会では事業の告知、事業への協力を依頼する場でもあり、それは呉青年会議所活動の基盤となる場です。つまり一つの事業に対して意識統一を図り、事業を成功に導くために調和していく場が例会です。この例会運営によってメンバーの意識を統一、そうすることによってまちづくり事業に、大きな力を発揮することができたと思います。

どのような趣旨で担当例会の委員会が事業の告知をしていくのか、どのような場面で手助けが必要なのかをしっかりと理解していることも必要だと感じて、事業計画書を事前に読みこむようになりました。そうすることで物品の数や暗転のタイミングなども事前にリハーサルすることで、クレイトンベイホテルのスタッフと担当例会の委員会が相談しやすい環境作りに努めてきました。全部、上手くいったかどうかは不明ですが、そこまでの気遣いが必要なのだと改めて実感できました。

たとえば欠席したメンバーにはメイクの一覧を例会翌日に送る、幹事やセクレタリーからも連絡を入れてもらう、直接電話して出席を促すこともしばしばありました。それまでの行動が功を奏したためか、一度だけ100%例会を達成することができました。

ここで、この一人では何もできない小さな私を支えてくださった、平原副理事長と藤本常任理事に2018年の夏にお声がけをいただいたこと、一年以上もの私の指導にあたっていただいたことに感謝します。平原副理事長からはたくさんのアイデアを頂戴し発想力豊かで楽しい例会に、藤本常任理事からは厳しい指導と温かな助言を頂戴して内面の部分から支えていただきました。

また辛いときや行き詰まったときには久保副委員長、岡本副委員長、田奥幹事、そして委員会メンバーから支えてもらい、この一年間の委員長の役割を締めくくることができました。仕事以外で充実したこと、これまで人に感謝したことのない2019年度となったこと、この道を切り開いてくれたのは私を支えて下さった皆さんでした。一年間、誠にありがとうございました。

事業報告

1. 事業名：総会運営

日 時：毎総会

場 所：クレイトンベイホテル及びグリーンピアせとうち

協力団体：無し

事業概要（方法）：毎総会を円滑に運営するため、資料作成、会場設営、受付、司会、議事録作成を行った。定款遵守のもと、会員全員による呉青年会議所の最重要事項の意思決定を円滑に行えるよう総会の運営に努めた。

検証方法と効果：定款に沿って運営された定時総会・臨時総会は、全て正会員の過半数（委任状含む）をもって成立した。

総会を厳粛な雰囲気の中、定款に沿って運営したことで、メンバーに総会の大切さを再確認することが出来た。

2. 事業名：例会運営

日 時：毎例会

場 所：クレイトンベイホテル及びグリーンピアせとうち

協力団体：無し

事業概要（方法）：担当例会を行う各委員会と打合せを行い、本番前には毎回リハーサルを行った。式典部分でも主に当委員会の副委員長と幹事とでシナリオの読み合わせや、パワーポイントの確認をし、ミスを無くしていけるように努めた。

他の団体（公益社団法人 日本青年会議所 中国地区 広島ブロック協議会など）のキャラバンでは、磯道専務理事を通じて連絡を取り合い、現地にいらっしゃったときは早めに赴き、打合せを行った。そうすることでスムーズにキャラバンでの告知ができたと思う。

例会欠席者には委員会幹事やセクレタリーより電話連絡をし、メイクの日にちを伝えたいうで、出席率を少しでも高めた。

検証方法と効果：例会を厳粛な雰囲気の中で行い、会員の意識統一の場とすることができた。100%例会を7月例会で達成した。





3. 事業名：1月例会（新年互礼会）

日 時：2019年1月12日（土）

場 所：クレイトンベイホテル

協力団体：呉市長

呉商工会議所 会頭

海上自衛隊 呉地方総監部 管理部長

海上自衛隊 呉地方総監部 管理部総務課 広報係長

呉市教育委員会 教育長

公益社団法人高知青年会議所

事業概要（方法）：2019年度の呉青年会議所の理念と基本方針を行政機関、関係諸団体に伝えるため、理事長所信表明を行い、来賓、関係諸団体、特別会員に伝えた。

オープニングでは今年のスローガンである「To Be With!!」にちなみ、オリジナルの歌詞をつけた歌でフラッシュモブを行った。各委員長と理事メンバーが続き、最後は全員で大合唱したことで、「一緒に」「ともに」を意味する「To Be With」を体現できた。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングを行った。

- ・フラッシュモブについては、来賓の方からの評判も良く、団結するコンセプトにマッチしていた。
- ・委員長自らが体をはり、道を切り開くという意味を込めて行ったフラッシュモブは感動したとの意見も頂いたしよかった。
- ・オープニングムービーもカッコよく、フラッシュモブは高橋委員長が堂々と歌っていてとても良かった。





4. 事業名：6月例会（高知合同例会）

日 時：2019年6月15日（土）

場 所：土佐御苑

協力団体：公益社団法人高知青年会議所

事業概要（方法）：兄弟JCである公益社団法人高知青年会議所が開催した呉・高知合同例会「最大の強敵（とも）呉・高知北斗の拳」に参加した。2年前と同様、席配置を卒業年度（年齢）別にする事で、より懇親を深めることができた。

懇親会の冒頭で流された動画は、高知青年会議所によって作成されたもので、井本理事長を始め3名の呉青年会議所の会員が撮影に協力した。委員長報告では両青年会議所の委員長が自身の委員会の紹介を、しっかりと説明した。専務理事報告では審議可決された議案や、近々行われるイベントの説明を行った。懇親会中のアトラクションとして、腕相撲大会や高知青年会議所によるバンド演奏が行われた。どちらも大いに盛り上がり、内容の濃い合同例会・懇親会であった。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングを行った。

- ・兄弟の関係を再確認し、絆をさらに強くすることの出来た素晴らしい機会となったと考えます。
- ・讃岐うどんを食べに行く際や、ホテルから例会会場までバスを出すなど、臨機応変に対応してくれてありがたかった。
- ・総務委員会の皆さんお疲れ様でした。おかげで非常に楽しい二日間を過ごすことができました。ありがとうございます。





5. 事業名：11月例会（創立記念日例会）

日 時：2019年11月11日（月）

場 所：クレイトンベイホテル

協力団体：無し

事業概要（方法）：呉青年会議所の誕生した11月11日（月）に創立記念日例会を開催した。

近年では動画を使って、過去の歴史を振り返る方法をとっていたが、今回はあえて動画を使わず、呉青年会議所の歴史と呉市の歴史を、それぞれ年表で振り返った。

各委員会の会議や正副常任会議の休憩時間に赴き、現役メンバーに筆ペンの手書きで、初代から第67代までの理事長名とスローガンを作成した。それらを現役メンバーで会場後方の約30mの年表に貼り付けていった。

井本理事長のみ、会場で本人の手書きとし、最後に貼り付けて年表が完成した。

また各席にはA3サイズの年表を配付し、特別会員と現役メンバーの会話も弾んでいた。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングを行った。

- ・呉J Cの歴史を感じることができた。配布物や展示物は最近入会した会員には勉強になったと思います。
- ・先輩あつての呉J Cということを再認識することができた例会でした。
- ・歴代の理事長パネルは、現役メンバー全員で行うことができ一体感が生まれて良かったと思います。





6. 事業名：12月第一例会（次年度担当例会）

日 時：2019年12月2日（月）

場 所：クレイトンベイホテル

協力団体：無し

事業概要（方法）：2020年度の基本方針をメンバー全員で一丸となって理解し、共有することで今後の地域貢献活動を展開するうえで、次年度に対する地域貢献活動に意識を向上させるため執り行った。

前半のセレモニー部分を本年度総務委員会が執り行い、後半の担当例会部分を次年度総務委員会が行った。次年度理事長による基本方針の説明、次年度理事役員紹介を行い、委員会紹介を行った。

検証方法と効果：次年度のスローガン・基本方針をメンバー全員で共有することが出来た。次年度委員長による委員会紹介では次年度委員会メンバーと委員会の特色をいかした紹介で、次年度の呉青年会議所を先頭に立って導く理事役員のやる気がメンバー全員に伝わる内容となった。



7. 事業名：12月第二例会（卒業式・納会・卒業送別会）

日 時：2019年12月21日（土）

場 所：シティプラザすぎや

協力団体：無し

事業概要（方法）：卒業式では、卒業生それぞれの得意分野やキーワードを感謝状に書き卒業生一人一人に読み上げられるようにし、卒業生の功績を讃えた。

納会では理事長に2019年度の一年間を理事長総括として振り返っていただいた。その後次年度理事長にプレジデンシャルリースを引き継ぎ、次年度理事長挨拶、専務理事によるJC旗引継ぎを行った後、次年度理事役員紹介を行った。

卒業送別会では卒業生全員の幟旗を高いところに掲げ、全員が見られるようにした。卒業生を労い、現役・特別会員との交流を深めた。

そして「To Be With!!」にちなんで、今年度の理事全員がステージ上で、理事長に続いて「To Be With!!」で締めくくることができた。

検証方法と効果：感謝状では「以下同文」を使わずに各々の卒業生のキーワードを書くことで、卒業生一人一人の功績を讃えることができた。

理事長総括では全部の事業の写真を映しだし、各委員会が漏れることなく一年間を振り返った。理事長総括では呉青年会議所の事業だけでなく、出向していたメンバーの紹介と感謝の気持ちを表しており、全員で一年間を振り返ることができた。次年度理事長予定者より挨拶を行い、次年度に向けた意気込みを現役・特別会員に知ってもらうことができた。

卒業送別会では今年度のスローガン「To Be With!!」を体現することで、2019年度の一体性を、現役・特別会員に感じてもらうことができ、最後まで「To Be With!!」を貫き通すことができた。



出向理事報告

出向理事 糸谷 知剛

2019年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会へ副会長として出向いたしました。

2019年度は（公社）日本青年会議所がSDGsタイアップ宣言を外務省と締結した年であり、私の担当するSDGs推進委員会は、先ずSDGsとは何なのかを理解するところからスタートしました。

年間を通じて大きく3つの運動（地域社会でSDGsを達成していくための事業、SDGs教育を普及するための事業、広島SDGsプラットフォームの設立・支援）を展開しましたが、SDGsとは何か特別な事をする必要があるのではなく、既に我々青年会議所の会員が実施している従来のまちづくりをSDGsの視点に当てはめて、発信していく事が重要である事が理解できました。

とりわけ、広島SDGsプラットフォームの設立では、広島県の平和推進プロジェクトチームと協働し、広島ブロック協議会に所属するメンバー企業を広島県SDGsビジネスセレクトブックに掲載し、一緒になりSDGsを推進出来たことは推進を加速させるうえで大きな一歩となりました。

今回初めて広島ブロック協議会に副会長という役付きで出向させて頂き、広島県内の各LOMの内情や優れた点を見る事ができ、また今まで呉青年会議所で学んだ事とは違った視点で学ばせて頂き、広島ブロック協議会の存在意義というものを体感させて頂く事ができました。広島県内には12のLOMがありますが、13番目のLOMが存在するとすれば、間違いなくそれは広島ブロック協議会である。それぐらい2019年度の広島ブロック協議会は一体感があり、その中の一員として運営に携さわせて頂いたのも、会長である龍永直記君の手腕が大きいとその背中を見て大いに勉強させてもらいました。

これから出向のチャンスが巡ってくるメンバーには是非、積極的に出向してもらえればと思います。よく呉青年会議所は良い、素晴らしいと言われますが、いったいそれは何を基準に良いと言っているのか？自分が楽しいから良いのか？と感じる事がよくあります。

出向すれば小さなLOMだけど外に出て活躍する優れたメンバーにも出会う機会や、小さいLOMだけど工夫次第で大きいLOMにも負けないような事業を実施していたりと多くのアイデアを見る事ができます。

外から見た自分の立ち位置、そして呉青年会議所の立ち位置を考え、これからの活動に活かして貰えればと思います。



公益社団法人 呉青年会議所

事務局／〒737-0045 呉市本通4丁目8番12号

呉商工会議所ビル南館内7F-704

TEL (0823) 21-1081 FAX (0823) 21-0800

<https://www.kure-jc.or.jp/>

e-mail info@kure-jc.or.jp

公益社団法人 吳青年會議所
會計報告書

自 2019年1月1日
至 2019年12月31日

貸借対照表

2019年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,644,726	1,044,887	599,839
未収金	886,746	2,285,489	-1,398,743
貯蔵品	11,200		11,200
△貸倒引当金	34,000	90,000	-56,000
流動資産合計	2,508,672	3,240,376	-731,704
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
周年事業積立資産	3,675,000	3,150,000	525,000
退職給付引当資産	2,310,000	2,256,000	54,000
特定資産合計	5,985,000	5,406,000	579,000
固定資産合計	5,985,000	5,406,000	579,000
資産合計	8,493,672	8,646,376	-152,704
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	30,000	30,000	0
預り金	760,447	1,179,076	-418,629
流動負債合計	790,447	1,209,076	-418,629
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,310,000	2,256,000	54,000
固定負債合計	2,310,000	2,256,000	54,000
負債合計	3,100,447	3,465,076	-364,629
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	5,393,225 (3,675,000)	5,181,300 (3,150,000)	211,925 (525,000)
正味財産合計	5,393,225	5,181,300	211,925
負債及び正味財産合計	8,493,672	8,646,376	-152,704

正味財産増減計算書

2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	(0)	(0)	(0)
受取入会金	(825,000)	(1,275,000)	(-450,000)
受取入会金	825,000	1,275,000	-450,000
受取会費	(13,717,500)	(14,580,000)	(-862,500)
普通会员受取会費	9,487,500	10,275,000	-787,500
特別会員受取会費	4,230,000	4,305,000	-75,000
事業収益	(326,000)	(0)	(326,000)
登録料収入	326,000	0	326,000
受取補助金等	(400,000)	(400,000)	(0)
補助金収入	400,000	400,000	0
販売金	(832,000)	(0)	(832,000)
販売収入	832,000	0	832,000
受取寄付金	(3,803,598)	(0)	(3,803,598)
寄付金収入	3,803,598		3,803,598
雑収益	(303,489)	(428,166)	(-124,677)
受取利息	298	318	-20
雑収入	303,191	427,848	-124,657
経常収益計	(20,207,587)	(16,683,166)	(3,524,421)
(2) 経常費用			
事業費	(13,798,978)	(11,398,637)	(2,400,341)
給与手当	1,542,496	1,546,668	-4,172
福利厚生費	392,953	537,592	-144,639
旅費交通費	126,980	0	126,980
通信運搬費	142,058	132,737	9,321
消耗品費	1,346,079	1,577,721	-231,642
印刷製本費	1,381,189	1,806,214	-425,025
光熱水料費	57,447	57,639	-192
賃借料	667,718	685,128	-17,410
保険料	67,950	22,500	45,450
諸謝金	369,406	1,100,279	-730,873
支払助成金	250,000	250,000	0
委託費	2,777,010	991,578	1,785,432
会場費	2,204,324	784,360	1,419,964
レンタル料	709,740	1,084,221	-374,481
記念品費	1,152,590	244,800	907,790
広告費	507,118	485,400	21,718
清掃費	76,920	64,800	12,120
退職給付費用	27,000	27,000	0

正味財産増減計算書

2018年1月1日から2018年12月31日まで

(単位:円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
管理費	(4,856,212)	(5,136,607)	-280,395
給与手当	1,542,496	1,546,668	-4,172
福利厚生費	271,633	269,003	2,630
会議費	18,150	11,880	6,270
通信運搬費	337,154	365,071	-27,917
消耗品費	235,311	224,229	11,082
印刷製本費	42,864	90,374	-47,510
光熱水料費	57,447	57,639	-192
賃借料	667,718	665,688	2,030
諸謝金	228,400	193,800	34,600
租税公課	21,000	21,000	0
支払手数料	199,953	195,594	4,359
清掃費	76,920	64,800	12,120
図書費	192,000	205,500	-13,500
諸会費	918,550	1,045,652	-127,102
退職給付費用	27,000	27,000	0
貸倒引当金繰入額	0	90,000	-90,000
雑費	19,616	62,709	-43,093
経常費用計	(18,655,190)	(16,535,244)	(2,119,946)
評価損益等調整前当期経常増減額	【 1,552,397 】	【 147,922 】	【 1,404,475 】
評価損益等計	(0)	(0)	(0)
当期経常増減額	【 1,552,397 】	【 147,922 】	【 1,404,475 】
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	56,000	60,000	
経常外収益計	(56,000)	(60,000)	(-4,000)
(2) 経常外費用			
会費等回収不能額	1,396,472	225,000	1,171,472
経常外費用計	(1,396,472)	(225,000)	(1,171,472)
当期経常外損益増減額	【 -1,340,472 】	【 -165,000 】	【 -1,175,472 】
指定正味財産からの振替額	(0)	(0)	(0)
当期一般正味財産増減額	【 211,925 】	【 -17,078 】	【 229,003 】
一般正味財産期首残高	5,181,300	5,198,378	-17,078
一般正味財産期末残高	5,393,225	5,181,300	211,925
II. 指定正味財産増減の部			
特定財産運用益			
預金利息収入	(0)	(0)	(0)
一般正味財産への振替額	(0)	(0)	(0)
当期指定正味財産増減額	【 0 】	【 0 】	【 0 】
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	【 5,393,225 】	【 5,181,300 】	【 211,925 】

正味財産増減計算書内訳表

2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	共通	小計	他1	共通	小計			
I. 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 特定資産運用益	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
② 受取入金 受取入金	(825,000) 825,000	(825,000) 825,000	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(825,000) 825,000
③ 受取会費 普通会員受取会費 特別会員受取会費	(6,858,750) 4,743,750 2,115,000	(6,858,750) 4,743,750 2,115,000	(1,552,440) 1,072,736 479,704	(1,552,440) 1,072,736 479,704	(5,306,310) 3,671,014 1,635,296	(13,717,500) 9,487,500 4,230,000			
④ 事業収益 登録料収入	(326,000) 326,000	(326,000) 326,000	(0)	(0)	(0)	(326,000) 326,000			(326,000) 326,000
⑤ 受取補助金等 補助金収入	(400,000) 400,000	(400,000) 400,000	(0)	(0)	(0)	(400,000) 400,000			(400,000) 400,000
⑥ 販売金 販売金収入	(832,000) 832,000	(832,000) 832,000	(0)	(0)	(0)	(832,000) 832,000			(832,000) 832,000
⑦ 受取寄付金 寄付金収入	(3,803,598) 3,803,598	(3,803,598) 3,803,598	(0)	(0)	(0)	(3,803,598) 3,803,598			(3,803,598) 3,803,598
⑧ 雑収益 受取利息 その他収益	(0) 0 0	(0) 0 0	(0)	(0)	(0)	(303,489) 298 303,191			(303,489) 298 303,191
経常収益計	13,045,348	0	13,045,348	1,552,440	0	1,552,440	5,609,799	0	20,207,587
(2) 経常費用									
事業費	(12,246,538)	(12,246,538)	(1,552,440)	(1,552,440)	(1,552,440)	(13,798,978)			
給与手当	1,542,496	1,542,496	0	0	0	1,542,496			1,542,496
福利厚生費	362,577	362,577	30,376	30,376	30,376	392,953			392,953
旅費交通費	108,000	108,000	18,980	18,980	18,980	126,980			126,980
通信運搬費	100,109	100,109	41,949	41,949	41,949	142,058			142,058
消耗品費	1,134,717	1,134,717	211,362	211,362	211,362	1,346,079			1,346,079
印刷製本費	842,714	842,714	538,475	538,475	538,475	1,381,189			1,381,189
光熱水料費	57,447	57,447	0	0	0	57,447			57,447
賃借料	667,718	667,718	0	0	0	667,718			667,718
保険料	67,950	67,950	0	0	0	67,950			67,950
諸謝金	278,000	278,000	91,406	91,406	91,406	369,406			369,406
租税公課	0	0	0	0	0	0			0
支払助成金	250,000	250,000	0	0	0	250,000			250,000
委託費	2,565,410	2,565,410	211,600	211,600	211,600	2,777,010			2,777,010
会場費	1,810,332	1,810,332	393,992	393,992	393,992	2,204,324			2,204,324
レンタル料	695,440	695,440	14,300	14,300	14,300	709,740			709,740
記念品費	1,152,590	1,152,590	0	0	0	1,152,590			1,152,590
広告費	507,118	507,118	0	0	0	507,118			507,118
清掃費	76,920	76,920	0	0	0	76,920			76,920
退職給付費用	27,000	27,000	0	0	0	27,000			27,000
雑費	0	0	0	0	0	0			0
管理費	()	()	()	()	()	(4,856,212)			(4,856,212)
給与手当						1,542,496			1,542,496
福利厚生費						271,633			271,633
会議費						18,150			18,150
旅費交通費						0			0
通信運搬費						337,154			337,154
消耗品費						235,311			235,311
修繕費						0			0
印刷製本費						42,864			42,864
燃料費						0			0
光熱水料費						57,447			57,447
賃借料						667,718			667,718
保険料						0			0
謝礼金						228,400			228,400
租税公課						21,000			21,000
支払手数料						199,953			199,953
清掃費						76,920			76,920
図書費						192,000			192,000
諸会費						918,550			918,550
退職給付費用						27,000			27,000
貸倒引当金繰入額						0			0
雑費						19,616			19,616
経常費用計	12,246,538	0	12,246,538	1,552,440	0	1,552,440	4,856,212	0	18,655,190
当期経常増減額	798,810	0	798,810	0	0	0	753,587	0	1,552,397
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	56,000	0	56,000
(2) 経常外費用									
会費等回収不能額							1,396,472		1,396,472
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	1,396,472	0	1,396,472
当期経常外損益増減額	0	0	0	0	0	0	-1,340,472		-1,340,472
指定正味財産からの振替 他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	798,810	0	798,810	0	0	0	-586,885	0	211,925
一般正味財産期首残高	-940,645		-940,645			0	6,121,945		5,181,300
一般正味財産期末残高	-141,835		-141,835	0		0	5,535,060		5,393,225
II. 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	-141,835		-141,835	0		0	5,535,060		5,393,225

財務諸表に対する注記

I 重要な会計方針

引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上しております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

II 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
【特定資産】				
周年事業積立資産	3,150,000	525,000	0	3,675,000
退職給付引当資産	2,256,000	54,000	0	2,310,000
合計	5,406,000	579,000	0	5,985,000

III 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
【特定資産】				
周年事業積立資産	3,675,000	(—)	(3,675,000)	(—)
退職給付引当資産	2,310,000	(—)	(—)	(2,310,000)
合計	5,985,000	—	3,675,000	2,310,000

IV 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
青年会議所活動助成補助金	呉市	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
合計		0	400,000	400,000	0	

V その他

- 未収会費の回収不能額の計上については、3ヶ年を超えて支払請求を通知したにもかかわらず、支払意思の表示が全く確認されないものを計上処理している。

附属明細書

I 特定資産の明細
注記に記載しているため、省略する。

II 引当金の明細 (単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,256,000	54,000	0	0	2,310,000

財産目録
2019年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	403,831
	預金	【普通預金】 呉信用金庫本店営業部 呉信用金庫本店営業部 もみじ銀行呉営業部 広島銀行呉支店	運転資金として	387,011
			運転資金として	604,172
			運転資金として	72,797
			運転資金として	176,915
			〈現金・預金計〉	1,644,726
未収金	現役会員11名 特別会員5名 貸倒引当金	当会計期間内に会員が納入すべき会費・入会金の未収分である	886,746	
			〈未収金計〉	△ 34,000 852,746
貯蔵品	JCバッチ7個			11,200
			〈貯蔵品計〉	11,200
流動資産合計				2,508,672
(固定資産) 特定資産	周年事業積立資産	【普通預金】 呉信用金庫本店営業部	No1039248	75,000
			【定期預金】 呉信用金庫本店営業部	No0067878 周年事業の積立資金として管理している
	退職給付引当資産	【定期預金】 広島銀行呉支店	No3045298 職員退職給付の引当資産として管理している	2,310,000
			〈特定資産計〉	5,985,000
固定資産合計			うち特定資産	5,985,000
資産合計				8,493,672
(流動負債)	未払金	宥空本印刷所 日本郵便	2019年度事業報告書作成費 2019年度事業報告書郵送代	29,505 495
	預り金	現役会員	普通会员個人が負担すべき例会食事代及び登録料等の支払いのための預り金である	571,797
		源泉所得税・市民税・社会保険料	職員の給与より源泉徴収した源泉所得税及び県市民税、社会保険料	188,650
			〈未払金・預り金計〉	790,447
流動負債合計				790,447
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	【退職給付引当金】 公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員1名分の退職給付金	2,310,000
			〈退職給付引当金計〉	2,310,000
固定負債合計				2,310,000
負債合計				3,100,447
正味財産				5,393,225

監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長 井本 成一 殿

2020年1月23日

公益社団法人 呉青年会議所

監事

原 晃志 

監事

森田 旭 

私たち監事は、2019年1月1日から2019年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備を努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

- (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長 井本 成一 殿

2020年1月23日

広島県呉市中通2丁目4番14号

武安会計事務所
監査人・税理士:

武安成一



上記、公益社団法人呉青年会議所2019年度収支決算報告書に関して本職は補助者2名をもって、公益社団法人呉青年会議所会計全般における現金の実査、預貯金の残高確認、諸帳簿の記帳確認、証憑書類、関係書類の照合確認等監査致しました結果、すべて適正・適法に処理が為されて且つ上記のとおり正当に表示されていることを認めます。